

観劇へのお誘い

収益事業委員会

2017年3月5日

雛祭りも過ぎ、暖かな春の日差しに恵まれる頃となりました。

さて、2017年度は5月28日(日)に文楽「菅原伝授手習鑑」六代目 豊竹呂太夫の襲名披露公演の鑑賞を計画いたしました。

なにかとお忙しいとは存じますが、皆様のご予定にお入れいただき、多数のご参加をお待ちいたします。また、会員外の方も歓迎いたしますので、お誘いいたしますようお願い申し上げます。

記

☆ 文楽 国立小劇場

- 会場 国立小劇場
- 日時 5月28日(日) 昼の部 開演11時
- 演目 菅原伝授手習鑑 豊竹英太夫 改め 六代目 豊竹呂太夫 襲名披露公演
 - 寿柱立万歳 (ことぶき はしらだて まんざい)
 - 菅原伝授手習鑑
平安時代、宇多天皇の信任を受け、右大臣になった菅原道真が左大臣藤原時平の中傷を受け大宰府に左遷され、後に都に天変地異が起きたのは、道真の怨霊が祟るせいだと信じられた史実を、江戸期の感覚で劇化した作品。
茶筌酒の段 三つ子の兄弟 梅王丸、松王丸、桜丸はそれぞれ菅丞相、時平、斎世親王の舎人となっているが、父四郎九郎の七十の賀の祝宴の用意を兄弟の嫁たちがしている。
喧嘩の段 菅丞相を落とし入れた時平に仕える松王と梅王の喧嘩で菅丞相遺愛の桜の枝を折る
訴訟の段
桜丸切腹の段 桜丸は自分たちを可愛ってくれた菅丞相が、自分が斎世親王と苧屋姫との恋を取り持ったばかりに、謀反の汚名を着せられ流罪になった。その責任を取るため自害をするといひ、父と母の前で自害をする。
 - 豊竹英太夫 改め 六代 豊竹呂太夫襲名披露口上
寺入りの段 道真に菅家の筆法を伝授された武部源蔵の寺子屋に、源蔵の留守中に小太郎という子が入門したいと連れて来られ、妻の戸波が預かる。
 - 襲名披露狂言
寺子屋の段 外出先から道真の子の菅秀才の首を要求された源蔵が青ざめた顔で帰るが、品のいい小太郎の顔を見て、身代わりに小太郎の首をさしだす。首実見をした松王丸は間違いないと認める。実は身代わりにと我が子を寺子屋に入れたのであった。
- チケット代 7,000円 ○定員 15名
- 申込み締切 3月25日 (定員に達し次第打切り)
- ◎ お申し込み JAUW事務所 FAX:03-3358-2889 お問い合わせ 03-3358-2882